

【午後の部】 浪江駅西側地区共創会議総会・まちづくりワーキング

日 時：令和8年5月30日（土）13：30～16：30

場 所：浪江町地域スポーツセンター サブアリーナ

次 第

1 開会挨拶

浪江町長 吉田 栄光

2 町からの現状説明・新規支援機関からの発表

浪江町市街地整備課 主幹 真鍋 聡

一般社団法人メタバース推進協議会 事務局長 小水 陽介氏
事務局 大矢 隆弘氏

（終了後、質疑応答）

3 講演

浪江町共創推進アドバイザー

株式会社新産業文化創出研究所代表 廣常 啓一氏

『産学公民共創プラットフォームに向けた、共創主体の多様化と交流の加速化』

～浪江国際研究学園都市構想の実現に向けた学の参画促進を例に～

（終了後、質疑応答）

<休憩（10分）>

4 まちづくりワーキング

5 閉会

○配布資料

- ・資料1 町説明資料、新規支援機関発表資料
- ・資料2 廣常 啓一氏 講演資料
- ・資料3 浪江駅西側地区共創会議 会則
- ・資料4 浪江駅西側地区整備計画（概要）

- ・会場外にパンフレットコーナーがございます。
- ・閉会后、会場外の記入台でアンケートへの回答をお願いします。
右の二次元コードから、WEB上でもご回答いただけます。



○講演者 廣常 啓一氏 略歴

- ・1960年3月10日 大阪府堺市 生まれ
- ・1982年立命館大学文学部卒業、1984年立命館大学産業社会学部 卒業
- ・1984年より日本経済新聞グループの(株)日経広告(現在の日本経済社)にてマーケティングやクリエイティブのプロデューサーとして、企業や製品、地域のプロモーションやブランディングの他、1990年の国際花と緑の博覧会、淡路花博、中国昆明世界園芸博、オランダフロリアードなど政府主催や出展イベントや産業展示会などの大型イベント、映画(東京夜曲他)の企画やプロデューサー、アドバイザーなどを歴任。
- ・2005年、社会課題解決などに結び付く新たな産業や文化、ライフスタイル等の創出に関わるシンクタンクとして、またコンサルティングやプロデュースを行う(株)新産業文化創出研究所(ICIC)を設立し代表を務める。
- ・新産業文化創出研究所(ICIC)は、社会インパクトを産み出すコンセプトチャルな社会提言やビジネスモデルの企画調査、提言とともに、異分野の共創を推進するオープンイノベーションと関連機能拠点施設の企画運営、社会や地域との共創や実証のためのリビングラボの形成支援やコーディネートを行う。ここでは、まちや都市施設をインキュベーションのフィールド(プラットフォーム)として、新たな産業や文化を創出、誘致、育成する、またを基に様々な技術シーズの組み合わせや、異分野連携、公民連携で生まれる新たな技術やサービスを、社会課題解決やまちづくりとマッチングする日本でも珍しい業務を担っている。

現在、下記のほか、自治体や業界団体、企業等のアドバイザーを務める。

- ・帝塚山学院大学 社会連携機構 特任教授
- ・大阪公立大学大学院 都市経営研究科(大学院)／大阪公立大学 客員講師
- ・東京都立大学 The Tokyo U-club 理事
- ・大阪大学大学院 超域イノベーション博士過程プログラム 講師
- ・弘前大学 グローカルファンド選定委員
- ・公益財団法人りそなアジアオセアニア財団理事、一般社団法人全日本司士協会理事
- ・公益社団氷温協会常任理事、一般社団 EV 安全協会理事長、一般社団 OHSi 代表理事
- ・一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団
- ・独立行政法人科学技術振興機構 RISTEX(社会技術研究開発センター) SOLVEforSDGs プログラムアドバイザー、科学技術推進事業機関連携推進評価委員会委員
- ・独立行政法人都市再生機構 UR まちづくり専門家
- ・文部科学省 科学技術イノベーションによる地域社会課題解決 (DESIGN-i) 選定委員
- ・アジア著作協会顧問
- ・NPO 法人秋葉原観光推進協会理事 NPO 法人元気な120歳を創る会理事
- ・みんなのエネルギー会議代表、NPO 法人大江戸野菜研究会副理事長
- ・NPO 法人キャンサーネットジャパン評価委員
- ・グローバルヘルスイニシアティブ代表幹事 他